

## 阿南中央図書館(仮称)建設工事設計業務公募型プロポーザル評価基準

### 1 評価基準について

本評価基準は、阿南中央図書館(仮称)建設工事設計業務における受注者の選定において、公募型プロポーザル方式の審査方法及び評価基準を示したものであり、別途公表する「阿南中央図書館(仮称)建設工事設計業務公募型プロポーザル実施要領」(以下「実施要領」という。)と一体のものとする。

### 2 評価項目及び評価基準

審査における評価基準及び配点については次のとおりとする。

#### (1)第1次審査(書類審査)

No.	評価項目	評価内容	評価基準	配点
1	業務実績	提案事業者の実績	業務の実績、規模、件数を評価する	10
2		技術者の資格	有資格者を評価する	
3	業務遂行能力	実施体制	本業務に従事する技術職員数及び有資格者数を評価する	10
4		配置技術者	配置技術者の実績、経験年数を評価する	
5	業務実施方針	事業に対する理解度	本業務に対する理解度を評価する	20
6		業務実施方針の明確性	業務実施方針の明確さを評価する	20
7		業務の進め方	業務の進め方の的確さ、実現可能性を評価する	20
8		取組意欲	取り組み意欲の高さや積極性を評価する	20
合計				100

## (2)第2次審査(プレゼンテーション・ヒアリング)

課題 No.	課題項目	課題の内容	評価基準	配点
1	図書館整備に関する基本コンセプト	阿南中央図書館（仮称）整備計画を実現するための基本コンセプトについて	基本認識、方向性を評価する	20
2	建築計画に関する提案	現時点で想定している建築物に関する配置案、諸室の配置・構成案、空間形成案について	的確性、独創性、実現性等を評価する	30
3	施設整備に関する提案	現時点で想定している施設整備における工法案、ZEBReadyを念頭にした設備計画案及び将来における適切な維持管理手法やコストについて	的確性、独創性、実現性等を評価する	30
4	まちづくり等に関する提案	『まちづくりとの連携』（P35）及び、複合機能について	的確性、独創性、実現性等を評価する	20
合計				100

### (3) 評価の配点

第1次審査において得られた評価の点数については、第2次審査の際においては考慮しないものとする。

## 3 評価の方法

すべての審査については、阿南中央図書館（仮称）建設に係る設計業務受託者検討委員会（以下、「検討委員会」という。）において、本評価基準に基づく評価により行うものとする。

### (1)第1次審査(書類審査)

- ア 提出された第1次審査書類を用いて、検討委員会において第1次審査の評価基準に基づき評価を行う。
- イ 各評価項目の評価方式は採点方式とし、各検討委員が算出した評価点を審査対象者ごとに集計を行い、評価点数の高い者から順に、各検討委員の評価に基づく順位づけを行う。この順位について、別表1に基づき、順位に基づく点数を審査対象者ごとに集計を行い

第1次審査採点結果をとりまとめる。

ウ 第1次審査採点結果をもとに、第1次審査における点数の高い者から順に第2次審査対象者を5者まで選定する。

(2)第2次審査(プレゼンテーション・ヒアリング)

ア 第2次審査対象者により行われた技術提案書に基づく提案内容に係るプレゼンテーション及びヒアリングについて、検討委員会において第2次審査の評価基準に基づき評価を行う。

イ 各評価項目の評価方式は採点方式とし、各検討委員が算出した評価点を審査対象者ごとに集計を行い、評価点数の高い者から順に、各検討委員の評価に基づく順位づけを行う。この順位について、別表1に基づき、順位に基づく点数を審査対象者ごとに集計を行い第2次審査採点結果をとりまとめる。

ウ 第2次審査結果に基づき、順位に基づく点数の合計が最も高かった者を最優秀提案者として1者選定する。また、次に順位に基づく点数の合計が高かった者を次点者として1者選定する。

【別表1】

審査対象者の総数を  $n$  とする

順位	点数
1位	$n$ 点
2位	$n-1$ 点
3位	$n-2$ 点
	
$n-1$ 位	2点
$n$ 位	1点